



全国同時七夕講演会 2017

天の川と 超巨大質量 ブラックホール

講師

中道 晶香 (京都産業大学 神山天文台 主任研究員)

天の川は、いて座の方向が一番明るく、夏に見やすくなりますが、それはなぜでしょうか。本講演で易しく解説するとともに、天の川の中にひそむ超巨大質量ブラックホールと、それがどのように形成されたのか、ブラックホールと銀河の進化に関する諸説を紹介します。

★全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と天文教育普及研究会との共催事業として、神山天文台が実施するものです。

2017年

7月8日(土)

17:00~17:45

京都産業大学 神山天文台 地下1階
サギタリウスホールにて開催

入場無料

予約不要

対象
小学生以上

主催 京都産業大学 神山天文台 共催 日本天文学会 / 天文教育普及研究会

後援 京都市教育委員会

その他 講演後は通常通り天体観望会を実施致します(19:00~21:00)。※悪天候時の場合は宇宙の3D映像上映会を開催

京都産業大学 神山天文台 ☎ 075-705-3001 🌐 <http://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>

©NASA/JPL-Caltech